

落札者決定基準

1 基本的事項

(1) 提案内容の評価

別表1「評価表」にて、2に示す加算点の算出基準に基づき提案内容の評価し、3の算定方法により「加算点」を与える。

(2) 入札価格の評価

入札書記載価格が予定価格以下の場合、「履行確実点」を与える。

なお、予定価格を上回った場合は、失格とする。

(3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

本会財務規則第78条の5の規定に基づき定められた予定価格の制限の範囲内で、3に基づき算定する「評価値」が最も高く、かつ有効な入札を行った者を落札者とする。

(4) 有効数字

「加算点」、「技術評価点」及び「評価値」の算定に当たっては、小数点以下3桁までを有効とし、小数点以下4桁目で四捨五入する。

(5) 合計点数の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

入札書記載価格が低い者を落札者とする。なお、入札書記載価格が同じときは、当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定する。

2 加算点の算出基準

落札者の決定は、入札価格及び技術提案資料の内容を総合的に評価することにより行う。

入札参加者から提出された技術提案資料に記載された技術的能力等の条件について、設計図書で定めるところにより、それぞれ加算点を求める。

なお、加算点を求める際の評価項目、基準、配点及び換算点は次表によるものとし、不適切と評価し、欠格となった項目がある場合は、総合評価の対象とせず、入札を無効とする。

評価項目	評価の細目	評価基準	評価点	換算値
企業の技術力について	工程管理	工程管理が工事の特徴を踏まえ適切である	2	2 ↓ 5
		工程管理が適切である	1	
		不適切である	0	
	令和2年4月1日からこの公告の日までの間の同種工事の施工実績の有無	同種工事の施工実績がある	2	3 ↓ 2
		同種工事の施工実績がない	0	
	ISO 9001の取得状況	認証取得している	1	
		認証取得していない	0	
配置技術者の技術的能力について	主任技術者の保有する資格	配置技術者が資格を有する	1	3 ↓ 2
		その他	0	
	令和2年4月1日からこの公告の日までの間の同種工事の施工経験の有無	主任技術者が同種工事の施工経験を有する	2	
		施工経験がない	0	
企業の地域精進度・地域貢献度	地理的条件（緊急時の施工体制）	主たる営業所を山口県に有する場合、又は工場を山口県内に有している場合	1	2 ↓ 1
		その他	0	
	県内企業の下請活用	百万円以上の下請けで県内企業等を全て活用する場合若しくは元請企業が県内に本店を有する企業で百万円以上の下請を活用しない場合	1	
		その他	0	
換算値の計（加算点の最大値）				10

3 加算点、履行確実点及び評価値の算定方法

加算点は、次の式により評価項目ごとに、当該評価項目の得点合計を当該評価項目の配点合計で除して得た数に当該評価項目の換算値に乗じて得た数の総和により求める。

$$\text{加算点 } \Sigma = \left(\frac{\text{評価項目ごとの得点合計}}{\text{評価項目ごとの配点合計}} \times \text{項目ごとの換算値} \right)$$

標準点（100点）に算出した加算点及び履行確実点（5点）を加えた合計を「技術評価点」とし、この技術評価点を当該入札者の入札書記載価格で除して値（評価値）を算定する。

ただし、入札書記載価格が予定価格を上回った場合は、失格とする。

$$\text{各社の評価値} = \frac{\text{標準点} + \text{加算点} + \text{履行確実点}}{\text{入札書記載価格}} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札書記載価格}}$$

4 落札者の決定

評価は、本工事に係る総合評価審査委員会の委員により次のとおり行うものとする。

（1）技術提案資料受領後

- ・入札参加業者から提出された「技術提案資料」及び「評価表」を各委員に配付する。
- ・各委員で「評価表」を用いて採点を行う。

（2）落札者の決定

- ・開札後に開催する総合評価審査委員会で、以下の基準で採点する。
 - ア 項目ごとの換算点の平均点を算出する。
 - イ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。
 - ウ 項目ごとの採点を合計し、合計点数は小数点以下を切り捨てる。
 - エ 上記の点を加算点とする。
- ・「評価表」で算出した加算点、履行確実点及び入札書記載価格を別表2「総合評価入札方式に関する評価調書」を記入し、3に示す算定方法にて評価値を算出する。
- ・算出の結果、評価値が最も高い者を契約候補者とし、併せて次点を決定する。